

(株)コミュニティワーク

第3回 運営推進会議

平成29年9月21日(木)

13 : 30～

デイサービス若芝



デイサービス若芝

次第



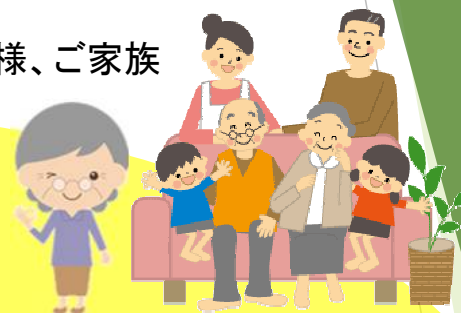
1. ごあいさつ 【センター長 渡部浩考】
～本会議の趣旨(目的)について～
2. デイサービス若芝のご紹介 【センター長 渡部浩考】
3. H29年度前期の活動紹介 【統括マネージャー 渡部美保子】
4. 意見交換他 【統括マネージャー 渡部美保子】
 - ご家族様からのご意見・ご要望
 - ご利用者様からの声
 - その他
5. 今後に向けて 【統括マネージャー 渡部美保子】

本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

利用者様、ご家族



地域の方々



三島地区(芝本町)



デイサービス若芝



三島市(包括)、有識者

定期的(半年に1回)に開催して、情報を共有したり、意見交換をしたりすることで、地域全体で介護サービスの質の向上を実現していく。

デイサービス若芝のご紹介 1



【開設】

平成24年1月1日

通所介護(要介護)／介護予防通所介護(要支援)
に関するサービスを提供する事業所として認可・開所
(平成28年4月1日より地域密着型通所介護へと移行)

1日のご利用定員 …… 10名

サービス提供時間 …… 9:15～16:30

- ・兄貴分のふじしろデイサービスに続く事業所
- ・開所時より「認知症ケア」へのこだわりを発信
- ・認知症の利用者様からのご支持をいただく。
- ・ふじしろデイサービスと協力して2拠点展開のメリットを最大限に活かしながら、「認知症ケア」を磨いてきました。

デイサービス若芝のご紹介 2



【事業所情報】

デイサービス若芝(事業所番号:2270600873)
〒411-0834 静岡県三島市芝本町11番地の32
TEL:055-983-0808 FAX:055-983-0811
ホームページ: <http://www.com-work.jp/>



【関係事業所】

平成20年2月1日

ふじしろデイサービス(通所介護／介護予防通所介護)

- 個別ケアにこだわって、様々なニーズに応える努力
- 10名定員に対して空間が広く、いろいろなことに挑戦



平成20年2月1日

居宅介護支援事業所ふじしろ(ケアマネージャーが常駐)

- 困難ケースにも積極的に取組み少数精鋭主義で運営
- H28年4月よりケアマネージャーを増員し積極展開へ

デイサービス若芝のご紹介 3



<ご利用実績>

ご登録人数: 28名

◆8月のご利用実績

平均稼働率 = 90%

※1日の定員10名に対して、毎日9名強のご利用(お休み等があるため)

<ご利用予定(8月31日時点)>

月	火	水	木	金	土
10名	10名	10名	10名	10名	10名

認知症が主訴である方が9割以上

ご自宅・・・安心できる場所
若 芝・・・生活のメリハリをつける場所

介護度	人数
要支援 1	0名
要支援 2	1名
要介護 1	17名
要介護 2	3名
要介護 3	6名
要介護 4	0名
要介護 5	1名

デイサービス若芝のご紹介 4



<スタッフ体制>

	ふじしろ	若芝
相談員	専任 1 名、兼務者 1 名	専任 1 名、兼務者 1 名
介護職	専任 3 名、兼務者 1 名	専任 4 名、兼務者 2 名
看護師（機能訓練指導員）	1 名	1 名
ケアマネージャー	専任 2 名、兼務者 1 名	—

<保有資格者数(ふじしろ・若芝)>

- ・介護福祉士(国家資格): 11名
- ・認知症ケア専門士 : 5名
- ・ケアマネージャー : 3名
- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度アセッサー: 2名
- ・社会福祉士(国家資格): 2名
- ・認知症介護実践者研修修了者: 7名
- ・ヘルパー: 1級2名、2級4名

<研修>

考え方「認知症ケア・個別ケアのプロフェッショナル集団を目指しましょう」

資格取得: 受講料、模試、交通費まで全面的に支援(就業後の勉強会も開催)

Off-JT: 週2回の倫理研修、月末のミニ勉強会、外部研修会への参加

※千葉県松戸市の事業所との交流も不定期に実施

デイサービス若芝のご紹介 5



<スタッフ像>

利用者様と正面から向き合う真摯な姿勢を持つ

気付きを大切にしてコツコツと物事を進める

諦めない心、健全な心、助け合う心 を持つ

- 人材不足(社会的な課題)にも目をそらさずに取り組んでいきます
 - ・女性の職場という課題(子育て、親の介護、出産)
 - 育児休暇取得支援、働き方の変更
 - ・介護業界が抱える労働環境の課題
 - 処遇改善や手当などの賃金面への取組
 - 育成主義を貫き資質を持ったスタッフをゼロから育成



H29年度前期の活動

<季節に応じた活動>

日々の活動に、季節感のある行事を交えて生活リズムを作っていきます。

月	活動
4月	近隣公園へのお花見企画
5月	端午の節句企画、梅雨シーズン準備
6月	七夕創作、調理企画
7月	夏祭り企画、事業所内壁面装飾
8月	三島大社のお祭り、事業所内夏祭り企画
9月	敬老会、お彼岸

<その他>

- ・5月に事業所内のテーブルを創作(適切な高さのものに自作)
- ・6月に事業所内のフロアを抗菌塗装実施(玄関床もまな板並の衛生)
- ・7月よりボランティアの石井さんが定期的に来所(19才の若者の就業支援)
- ・7月に社会保険の定期調査→指摘ゼロ(職場環境の維持向上)



H30年度へ向けて

【H30年4月には介護保険法の改正があります。】

＜小規模事業所の使命＞

- 小規模事業所が激減(H28.4から半減して10事業所に)
- 小規模だからできることを愚直に追求しなければ退場
- 地域に開かれた事業所にならない

＜認知症ケアを極めていきます＞

- －小規模事業所だからできる認知症の利用者様への細やかな支援
- －認知症ケアのスキル・知識を磨き続ける。専門職のレベルアップ。
- －よろず相談所として様々な相談窓口になれる組織を目指す。
- －地域の安心に繋がる事業所であり続ける。

＜地域との関わり＞

お互いに遠慮しあう関係ではなく、気軽に声を掛け合える関係へ

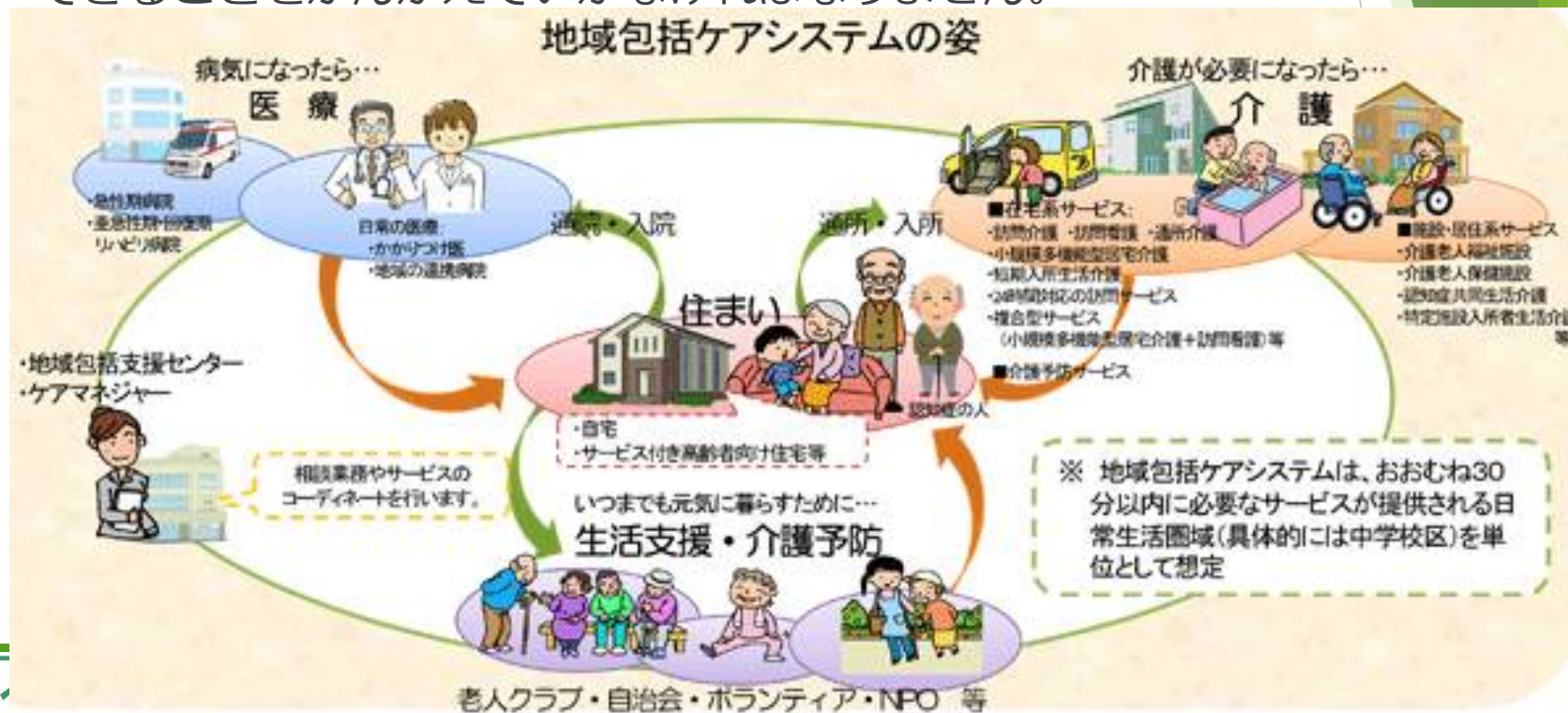
地域包括ケアシステムの中のふじしろ・若芝



「認知症」 「独居」 「老老介護」

というキーワードは耳にしますが、

併設の居宅介護支援事業所ふじしろ（ケアマネージャー）のケースとしては、既にこういったケースが増えてきています。小さな声かけによる安否確認や服薬確認ができるだけで解決するのに、それが思うように進まないのでは不安は募るばかりです。地域の中で求められることですので、真剣に貢献できることをかんがえていかなければなりません。



ご意見を伺わせてください

(1) ご家族(ご利用者)様から

- ・サービス内容について
- ・良かったこと、改善してほしいこと etc

(2) 地域の方々から

- ・地域で考えていること／地域の情報
- ・地域に貢献して欲しいと感じていること

(3) その他

- ・情報交換etc